

ななかま

氷上に 百人のする ホッケー戦
厚氷 亀はいずこに 籠りたる

行事予定表

- 1月25日 JASL 秋季終了 日文公開授業 16:30
父母総会 15:20
- 2月1日 JASL 春季開始
- 2月8日 漢字検定 新1年入学説明会
JASL (居合道演武)
- 2月15日 如月祭
- 2月22日 幼稚部入園説明会

1月18日

書き初め展示会
展示作業にご協力
頂きましたクラス
委員等の皆さま、
有難うございました。



カーネギー湖でスケート

TVJapan 放映が

1月23日から始まり
ました。全校で撮影にご協力
いただきありがとうございました。

安全確保に関する注意喚起

シリア人質事件の発生に伴い文科省から注意喚起の通達が来ました。

危機回避は、つまるところ自身の意識にかかっています。身近な生活から、自動車事故に至るまで、日常的な心がけが大事です。特に、自分では十分に自分の身を守れない年少者が危険に巻き込まれることがないように、日頃から気をつけましょう。

布団から出る勇気

日本の私の部屋は冬が特に寒く、朝に布団から出るのには相当な勇気が必要でした。ここ (NJ州) では室温を 20℃に設定しているので簡単にいられそうなのに、これがなかなか難しいです。時には1時間もかかることがあります。困ったものです。

ひとたび布団から出られると、あとはいつものように支度して、えいやっと気合を入れて薄暗い中を散歩に出ます。ジョギングの人は私の横を抜いていきます。でも私は決めた速さで歩きます。時には鳥や獣を観察するために立ち止ります。この爽快さを得るためにこそ、勇気が必要なのでした。

プリンストン日本語学校新聞



平成26年度 No.35号

平成27年1月25日

文責 長尾重範 nagao@pcjls.org

日本の歴史シリーズ (10) 明治維新のこと

NHK 大河ドラマに最もよく登場する時代は幕末・明治維新ではないでしょうか。坂本龍馬は、日本の新しい国づくりのために戦った英雄として高い人気を得ています。幕末から明治にかけては、短期間に大きな変化がもたらされ、人々の生活も大きく変化しました。

革命派と守旧派がせめぎ合いながらも、ついには強力な軍事力を背景にした薩摩・長州が主導して討幕がなされ、新政府は作られました。アヘン戦争 (1840年) で多くの負担を強いられたイギリスは、その後の対日政策にあたって直接的に内乱に関与することを避け、討幕軍に協力するという方法をとりました。フランスは幕府軍を援護する側に回りました。これら勢力の駆け引きがあったことも日本にとっては幸運だったと思います。そして激動の時代を経て日本は封建制を捨て民主制の時代を迎えました。その時代を象徴する「殖産興業」「富国強兵」「文明開化」などの言葉から当時の政治家たちが何を重視したかがよく分かります。「廢仏毀釈」という言葉もあります。江戸幕府が寺院を統治の手段として活用した歴史を塗り替えるべく、明治政府は神社を統治の手段として組み替えようとしてきました。

1854年の開国以来、多くの有為の若者が欧米の工業、文化を吸収するために海外に赴き、帰国後の変革の原動力になったことは言うまでもありません。伊藤博文に代表される政治家たちは、欧米に負けないだけの強力な帝国主義国家をつくるために天皇を絶対とする国づくりを進めていきました。また同時に欧米から工業技術を摂取するために多くの予算をつぎ込みました。近代の始まりです。

なんと言っても幕末明治で強く印象付けられるのは青年の活躍です。明治元年に坂本龍馬は33歳 (前年に暗殺されていますが)、伊藤博文は27歳、高杉晋作は29歳、福沢諭吉は34歳、大久保利通は38歳でした。西郷隆盛は41歳、勝海舟は45歳でした。この年齢差がそれぞれの役回りに微妙に影響したことは想像できます。短期間にこれほどのエネルギーが集中的に出され、時代の急変に対応した人々の息遣いが聞こえて来そうです。その歴史を動かしたのは20代30代の若者であったことこそ、明治維新を象徴することだと思います。

現在のように安定した社会では、独り立ちする年齢が遅くなる傾向にあることが指摘されますが、いつの時代も変革の活力は青年層にゆだねられているのは昔も今も変わりがないように思います。